— 過去問分析ノート

過去問 2022–2026 年度

広島大学 数学

どの大問から解いて、どれを捨てるか

5年・25問 | **解く順・捨て問・定石**

最難関医学部の現役医大生が全問を解いて監修 白衣のものさし

目次

この冊子の使い方 3
1. 広島大学 数学の分析 5
2. 解く順と捨て問 11
3. 広島大学に出る定石 15
4. 見抜く練習（19 問・易しい順） 18
5. 選び分けの練習（5 組） 67
6. このノートで過ごす 3 か月 90
7. 過去問（問題だけ） 107
8. 解答・解説 126

1. 広島大学 数学の分析

2022〜2026 年度の 5 試験・25 問を、1 問ずつ並べました。区分は、必答 10 題・勝負 15 題・捨て可 0 題。レベルの平均は 4.6（全大学共通の 1〜10）です。

1-1. 全問の一覧

2026年度 前期

大問	題	分野	レベル	目安	区分
1	2 個のさいころの最大値の確率	場合の数と確率	4	20 分	必答
2	楕円と点 A を通る直線の交点	平面上の曲線と複素数平面・図形と方程式	5	25 分	勝負
3	等面四面体の垂線の足と切り口	ベクトル・図形と計量	5	25 分	勝負
4	最大をとる点と積分の極限	微分法・積分法・極限	5	25 分	勝負
5	分数の漸化式と √(2n) との差の極限	数列・指数関数・対数関数・積分法・極限	5	25 分	勝負

2026年度 前期（解き切る目安の合計 120 分）

順	大問	題	区分	レベル	目安	練習
1	第1問	2 個のさいころの最大値の確率	必答	4	20 分	3
2	第2問	楕円と点 A を通る直線の交点	勝負	5	25 分	10
3	第3問	等面四面体の垂線の足と切り口	勝負	5	25 分	11
4	第4問	最大をとる点と積分の極限	勝負	5	25 分	—
5	第5問	分数の漸化式と √(2n) との差の極限	勝負	5	25 分	18

2025年度 前期（解き切る目安の合計 120 分）

順	大問	題	区分	レベル	目安	練習
1	第1問	x 軸のまわりの回転体と対数関数	必答	4	20 分	2
2	第2問	直線と垂線をくり返して作る点列	勝負	5	25 分	16
3	第3問	単位円上の 4 点と三角形の面積の極限	勝負	5	25 分	15
4	第4問	箱を移すカードの平均と条件付き確率	勝負	5	25 分	14
5	第5問	複素数の漸化式と 3 点が一直線上	勝負	5	25 分	12

練習 3　2 個のさいころの最大値の確率

2026年度 前期 第1問・必答・レベル 4・目安 20 分

大小2個のさいころを投げ、出た目の最大値を得点とするゲームを「ゲームX」と呼ぶ。次の問いに答えよ。

(1) AさんがゲームXを行う。Aさんの得点が5である確率を求め、既約分数（それ以上約分できない分数）で表せ。

(2) AさんがゲームXを行う。Aさんの得点が5であるとき、大きいさいころの出た目が5である条件付き確率を求め、既約分数で表せ。

(3) AさんがゲームXを行う。Aさんの得点の期待値を求め、既約分数で表せ。

(4) AさんとBさんがそれぞれゲームXを行う。Aさんの得点がBさんの得点より大きい確率を求め、既約分数で表せ。

問い 1　最初の一手を決める合図は、問題文のどこにあるか。

問い 2　使う定石はどれか。

- （ア）条件の場合だけを分母にして比
- （イ）結果から原因を遡る
- （ウ）少なくとも 1 回は 0 回を 1 から引く
- （エ）戻さない抽出を組合せで数える

練習 3 の答え

- **定石**：（ア）**条件の場合だけを分母にして比**
- **合図の場所**：「Aさんの得点が5であるとき、大きいさいころの出た目が5である条件付き確率」。「〜であるとき」の条件を満たす場合（得点 5 の 9 通り）だけを分母にして、その中で数える合図。
- **最初の一手**：(2) 得点5の9通りの中で大きいさいころが5の5通りの比で求める
- **この定石の「見たら」**：「〜だったとき」「〜の条件の下で」の確率を、条件を満たす場合の中で数える
- 解答の全文：広島大学 2026年度 前期 第1問 の解答